

令和８年度 健康福祉委員会 追加資料

２ 所管事務の調査（報告）

（２）令和７年度 公益財団法人川崎市シルバー人材センター
「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

追加資料 その２

- ・ 令和７年度新規発注者数（参考値）について
- ・ 政令指定都市シルバー人材センターの法人格及び本市シルバー人材センターの変遷について
（長寿社会部高齢者在宅サービス課）

令和８年８月２７日
健 康 福 祉 局

川崎市出資法人の現況

令和8年版

川崎市

公益財団法人 川崎市シルバー人材センター

川崎市シルバー人材センターは、市内の一般家庭や企業などから高齢者向きの仕事を受託し、これを生きがいや健康のために働きたいという高齢者に就業の場として提供する事業などを行っています。今後、超高齢社会を迎えるにあたって、働くことを通じて高齢者の社会参加及び生きがいの充実を図ることを目的としている当センターのさらなる充実と発展が求められています。

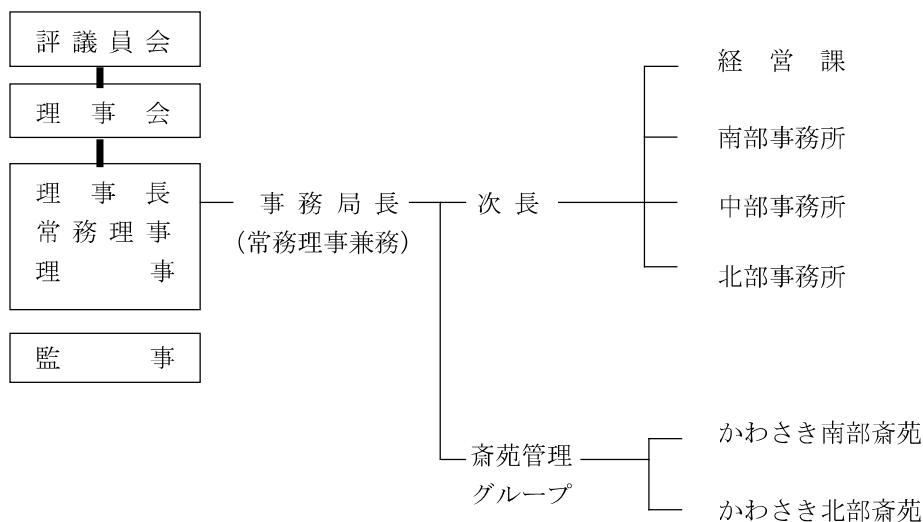
概 要

1 法人名	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	2 設立年月日 (旧財団の設立年月日)	平成24年4月1日 (昭和55年8月1日)
3 所在地	〒210-0026 川崎市川崎区堤根 34 番地 15		Tel 044(222)6886
4 代表者名	理事長 西 義行		
5 所管部局	健康福祉局長寿社会部高齢者在宅サービス課		Tel 044(200)2651
6 根拠法令	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律		
7 基本財産	32,660 千円 (令和8年3月31日現在) [本市出捐状況] 10,000 千円 30.6% [他団体出捐状況等] 決算剰余金の組み入れ 22,660 千円 69.4%		
8 決算日	毎年3月31日		
9 目的	健康で働く意欲を持つ定年退職者等の高齢者（以下「高齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供すること等により、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、もって高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、あわせて市民サービスの向上に寄与することを目的とする。		
10 事業	(1) 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く。）を希望する高齢者のために、これらの就業の機会を確保し、及び組織的に提供すること。 (2) 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者のために、職業紹介事業又は労働者派遣事業を行うこと。 (3) 高齢者に対し、就業等に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと。 (4) 高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業等を通じて、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行うこと。 (5) 前各号に掲げるもののほか、高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業を行うこと。		

	(6) 川崎市が設置する葬祭場の管理運営 (7) その他目的を達成するために必要な事業を行うこと。
11 法人 URL	https://www.kawasaki-sc.or.jp

1 法人の組織 (令和8年7月1日現在)

(1) 機構図



(2) 役員・職員の数及び平均年齢

	常 勤			非 常 勤		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員数	1名	0名	1名	8名	0名	2名
職員数	25名	0名	11名	8名	0名	5名
常勤役員平均年齢		* 歳		常勤職員平均年齢		54歳

(注) 常勤役員が1名であるため、個人情報保護の観点から常勤役員平均年齢は*表記としています。

(3) 役員名等 (*は常勤の役員)

- 【 理 事 長 】 西 義行 (元教育委員会事務局教育次長)
- 【 常 務 理 事 】 *西之坊 行宏 (元会計管理者)
- 【 理 事 】 早川 佳伸、横手 修治、保田 美和子、佐藤 悦子、井原 良治
- 【 監 事 】 西尾 康三、小林 隆 (元財政局長)

令和7年度新規発注者数 (参考値) ※令和6年度に受注実績がない発注者の数

	新規発注者数	主な業務内容
南部事務所	116(24)	マンション・ビル・学校等の清掃・除草、賞状書き、登下校見守り、会場案内等
中部事務所	248(14)	植木剪定、除草、マンション等の清掃・水やり、霊園の門扉開閉等
北部事務所	287(9)	植木剪定、除草、マンション・保育園等の清掃、公園の門扉開閉等
合計	651(47)	

※カッコ内の数字は、企業からの受注件数

2 事業の概況 (令和7年度)

(1) 事業の概況

当センターは、市内の一般家庭や公共・企業などから高齢者向きの仕事を委任・請負又は労働者派遣として受注し、これを生きがいや健康のために働きたいという高齢者に就業の場として提供する事業などを行っています。受注している主な仕事は、家事援助、除草、清掃などの軽作業から植木などの専門・技術的な作業まで多岐にわたっており、就業した高齢者は作業実績に応じて報酬（配分金）又は賃金として支給を受けられます。

また、平成26年4月1日から川崎市の指定管理者として、当センターと富士建設工業株式会社で共同体を組み、かわさき南部斎苑及びかわさき北部斎苑の葬祭場運営事業を実施しており、現在は第5期指定管理者（令和7年度～令和11年度）として同事業を実施しています。

(2) 事業の体系・実績

ア 連絡会議など開催業務

- (ア) 地域班全体連絡会議開催（2回、36人）
- (イ) 地域班事務所連絡会議開催（6回、43人）
- (ロ) 職群班会議等開催（除草班及び植木班 年9回）

イ 就業機会の確保と拡大業務

- (ア) 登録会員数 7,086人
- (イ) 受注件数 4,431件
- (ロ) 就業実人員 1,690人
- (ハ) 就業延日数 182,324日
- (ニ) 契約金額 894,119,808円

ウ 家事援助・子育て支援事業及び地域サポート事業の推進

- (ア) 家事援助・子育て支援事業（受注件数330件）
- (イ) 地域サポート事業（受注件数148件）
- (ロ) コーディネーター活動状況（人数9人、活動日数92日）

エ 普及啓発活動の推進業務

- (ア) 就業機会創出員活動（981件訪問）
- (イ) ひとり親家庭サポートガイドブックへの掲載（7,000部）
- (ロ) 川崎区子育て情報ガイドブック「さんぽみち」への掲載（3,500部）
- (ハ) 中原区子育て情報ガイドブック「このゆびと～まれ！」への掲載（8,000部）
- (ニ) 高津区子育て情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」への掲載（7,000部）
- (ホ) 多摩区地域子育て情報BOOKへの掲載（6,000部）
- (ヘ) 地域班によるチラシ配布活動（29,500枚）
- (ト) 区民祭でのPR活動（ポケットティッシュ配布7,500個）
- (チ) 地域情報誌タウンニュースへの広告掲載（年2回）
- (リ) 宮前老人福祉センターでの出張入会説明会の開催
- (ニ) 老人福祉センター（川崎区除く）にチラシ付きポケットティッシュ配架（1,500個）
- (ホ) かわさき健康・介護フェアにおけるPR活動
- (ヘ) シルバーフェスタにおけるPR活動
- (ト) 「高齢者外出支援乗車事業のご案内」にセンター会員募集チラシを同封
- (チ) 新規会員入会促進に係る家族・友人紹介制度の推進
- (リ) Web入会システムの周知の強化

オ 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）実績

- (ア) 登録会員数 435人
- (イ) 受注件数 215件

- (ウ) 契約金額 65,042,356 円
- カ 各種講習会の実施
- (7) 登録会員及び市民への講習会・研修会の実施 (58 回実施・172 人参加)
- キ 安全・適正就業の推進
- (7) 安全・適正就業委員会等会議の開催 (8 回開催)
- (4) 安全・適正就業巡回指導の実施 (6 回実施)
- ク 葬祭場運営事業実績 (友引日の開苑日数：各斎苑 8 日 合計 16 日間)
- (7) 火葬件数 13,551 件 (うち友引日の火葬件数 287 件)
- (4) 休憩室貸出件数 9,896 件 (うち友引日の休憩室貸出件数 180 件)
- (7) 斎場貸出件数 2,625 件 (うち友引日の斎場貸出件数 60 件)
- (エ) 遺体保管件数 466 件 (うち友引日の遺体保管件数 6 件)
- ケ 調査研究
- (7) 内部各種会議 (政策・経営会議、連絡会議等 計 52 回実施)
- (4) 関係機関会議への出席 (派遣事業会議、葬祭場運営会議等 計 39 回出席)
- コ 社会参加活動の推進業務
- (7) 市内ボランティア清掃活動 (3 回実施)
- サ アンケート調査の実施
- (7) 葬祭場利用者アンケート (常設) 回答数 252 件

3 収支及び財産の状況

単位：千円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
経 常 収 益	1,271,862	1,230,831	1,268,719	1,272,682
経 常 損 益	18,273	7,362	△17,832	△27,836
当 期 損 益	18,273	6,603	△18,177	△27,836
減 価 償 却 前 当 期 損 益	22,577	10,897	△13,168	△22,762
総 資 産	491,533	503,889	496,602	461,773
総 負 債	213,803	219,556	230,445	223,453
うち有利子負債	0	0	0	0
正 味 財 産	277,730	284,333	266,156	238,319
正 味 財 産 増 減 額	18,273	6,603	△18,177	△27,836
基 本 財 産	32,660	32,660	32,660	32,660
累 積 損 益	245,070	251,673	233,496	205,659

(注 1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

(注 2) 累積損益＝正味財産－基本財産

4 市の財政支出等

単位：千円

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
補 助 金	53,622	53,265	53,405	58,533
委 託 料	146,944	82,626	76,805	81,875
指 定 管 理 料	236,401	247,358	246,857	265,275
貸付金(年度末残高)	0	0	0	0
出捐金(年度末状況)	10,000	10,000	10,000	10,000
(市出捐率)	(30.6%)	(30.6%)	(30.6%)	(30.6%)

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

【参考】

政令指定都市シルバー人材センターの法人格について

法人格種別	政令指定都市名
公益財団法人	横浜市、神戸市、岡山市、川崎市
公益社団法人	相模原市、札幌市、仙台市、新潟市、千葉市、さいたま市、 静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、広島市、 北九州市、福岡市、熊本市

市シルバー人材センターの変遷

昭和55年8月1日	「財団法人川崎市高齢者生きがい事業団」として設立
昭和63年6月1日	「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき指定された、「財団法人シルバー人材センター川崎市生きがい事業団」として認可
平成55年5月1日	「財団法人川崎市シルバー人材センター」に名称変更
平成24年4月1日	公益財団法人として設立登記し、「公益財団法人川崎市シルバー人材センター」となる